株式会社フツパー
2026 年 10 月 26 日

報道関係者各位

フツパー、セキュリティ重視のローカル LLM「ラクラグ」を AI エージェントとして大幅アップデート

～機密資料を社外に出さずに、集計・報告書作成まで～

株式会社フツパー（本社：大阪市淀川区、代表取締役社長 CEO：大西 洋、以下「当社」）は、社内の機密情報を外部に出さずに活用できるローカル LLM「ラクラグ」を大幅にアップデートし、2026 年 11 月 1 日より正式に提供を開始します。保守契約をご利用中のお客様にも、順次ご提供を開始します。今回のアップデートにより、ラクラグを AI が社内資料を自ら検索し、表やグラフまで確かめ、データを集計し、Excel・Word・PowerPoint などのファイルとして仕上げる AI エージェント機能を追加して再構築しました。従来通り社内のサーバーで完結する構成を選べるため、機密情報をクラウドに送ることなく、自社のセキュリティ方針に沿って生成 AI を日々の業務に取り入れられます。



■ 開発の背景

企業の情報漏えいは大型化が進んでいます。東京商工リサーチの調査によると、2025 年に上場企業とその子会社

が公表した個人情報の漏えい・紛失事故の対象人数は 3,063 万人分にのぼり、前年の約 1.9 倍となりました（※1）。2026 年も、上場企業による 100 万件以上の大型漏えいが 10 月 5 日時点ですでに 10 件発生し、2025 年通年の 6 件を上回っています（※2）。また、情報処理推進機構（IPA）の「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」［組織］では、「AI の利用をめぐるサイバーリスク」が初めて選出され、3 位となりました（※3）。生成 AI の業務利用が広がるなか、「AI に何を渡すか」も情報管理の対象となり、機密資料を社外に出さないことが、AI 活用を検討する際の前提になりつつあります。

当社 2025 年 6 月、社内ネットワーク内で動作するローカル型生成 AI としてラクラグの提供を開始し、技術文書や契約書など、社外に出しにくい情報の活用を支援してきました。一方で、現場からは「資料を探せるだけでなく、集計や報告書づくりまで任せたい」という声が多く寄せられていました。資料を探して答えるだけでは、業務を終えるまでに人の手作業が残るためです。今回のアップデートは、この「探す」と「仕上げる」の間を埋めることを目指し、仕組みから見直したものです。

※1「2025 年 上場企業の個人情報漏えい・紛失事故」調査｜東京商工リサーチ TSR データインサイト

※2 上場企業「個人情報漏えい」、過去最悪ペース ～ 100 万件以上、2026 年はすでに 10 件の異常事態 ～｜東京商工リサーチ TSR データインサイト

※3「情報セキュリティ 10 大脅威 2026」｜独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

■ アップデートのポイント

便利になったこと

1. 人が調べるように、AI が資料を確かめながら答える

AI が質問の意図に合わせて社内資料を探し、回答に必要な情報がそろっているかを確認します。情報が足りなければ検索条件や探し方を変えて調べ直し、表や図、数値を含む資料は、該当ページの内容まで確かめたうえで回答します。今回のアップデートでは、資料を検索して回答する従来の仕組みから、AI が必要な手順を判断し、検索・確認・集計を進める「AI エージェント」へと進化しました。質問や資料に応じて複数の検索方法を使い分けるほか、専用の隔離環境でプログラムを実行し、複雑なデータ集計/情報抽出にも対応します。資料を探すだけでなく、得られた情報を業務に使える形にまとめるところまで支援します。

2. Excel・CSV のデータを正確に集計

売上表や検査記録などの表データについて、合計・件数・絞り込み・並べ替えや複数シートをまたいだ集計を、チャットで指示するだけで AI が実際に計算します。文章から推測した数字ではなく、原本のデータから直接計算した数字を返します。

3. 成果物をそのままファイルで受け取れる

集計表は Excel や CSV、報告書は Word、説明資料は PowerPoint、配布用は PDF として作成し、そのままダウンロードできます。コピー＆ペーストで資料を作り直す手間がかかりません。

4. 調べた内容が、チームの知見として残る

AI に調べさせるたびに、調査の中で分かった原因・対策・用語などが、出典つきで「知見」として記録されます。たとえば、熟練者が時間をかけて突き止めた不具合の原因も、これまでは本人の頭の中や個人のメモにしか残りませんでした。これからは、AI で調べた時点でチームの共有財産になり、別の担当者が似た質問をしたときの手がかりになります。「資料に記載がない」と分かったことも記録されるため、同じ調査をゼロからやり直したり、同じ空振りを繰り返したりせずに済みます。使うほど社内のナレッジが育ち、チームで探す時間を減らせます。

安心して使えること

5. 機密情報を社内で完結

お客様の社内に設置したサーバー上で AI を動かす構成に対応しており、クラウドに情報を出せない企業でも利用できます。要望に応じて、AWS 等のクラウド上に専用サーバーを構築して利用することも可能です。

6. 企業で使うための管理機能

資料ごと・グループごとに閲覧・編集の権限を設定でき、誰がどの操作をしたかを記録する監査ログも備えます。AI が計算のために実行する処理は、ほかのシステムから切り離された環境で動くため、社内システムへの影響を抑えられます。

7. 新しい AI モデルにも、管理画面から切り替え

自社サーバーで生成 AI を動かすには、AI モデルごとに細かな設定の調整が必要です。当社はモデルごとにメモリ使用量と応答速度を実測し、動作を確認した設定を「レシピ」として同梱しています。管理者は管理画面でレシピを選ぶだけで、新しい AI モデルを導入できます。AI の進化に合わせて、専門知識がなくても最新のモデルを使い続けられます。

8. 準備の負担が少なく、最短即日で利用開始

高性能 GPU を搭載した専用サーバーとラクラグをワンパッケージで提供するため、準備の負担はほとんどありません。納品後は、機器の設置・社内ネットワークへの接続・アカウント発行・資料のアップロードを経て、最短即日で使い始められます。PDF・Word・Excel・PowerPoint に加え、スキャンした紙の資料や画像も文字を読み取って取り込めます。

■ 想定する活用シーン

- 試験記録・不良記録のとりまとめ：散らばった試験報告書や議事録を横断し、経緯・原因・対策を日付順に整理して Word で出力
- 過去の類似トラブルの検索：不良報告書や設備点検記録から類似事例と原因・対策を示し、初動の確認ポイ

ントを根拠付きで提示

●試験データの比較・集計：報告書の試験条件と Excel の測定値をもとに比較表を作成

●設計変更の経緯の確認：設計変更通知やデザインレビュー議事録から、変更の時期・理由・判断の経緯を確認

●マニュアルからのチェックリスト作成：書式の異なるマニュアルや通達から、出典付きの点検チェックリストを作成

●社内規程の問い合わせ対応：規程集や通達をもとに、該当条文とあわせて回答

■ 今後の展開

当社は今後も「最新テクノロジーを確かな労働力に」のミッションのもと、セキュリティを重視した AI 製品と DX サービスを追求し、機密情報を扱う企業の現場でも AI が確かな力となる環境づくりを目指してまいります。

■ 製品情報

●製品名：ローカル LLM「ラクラグ」

●提供開始：2026 年 11 月 1 日

●提供対象：新規導入のお客様、および保守契約をご利用中のお客様

●価格・販売形態：専用サーバーとソフトウェアのワンパッケージ（買い切り型）。構成により個別見積もり。会社ごとのカスタマイズにも対応

●製品ページ：https://hutzper.com/raku-rag/

■ 株式会社フツパーについて

当社は「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションに掲げ、製造業を中心とした現場の AI 実装を支援するスタートアップです。外観検査 AI「メキキバイト」、人員配置最適化 AI「スキルパズル」、ローカル LLM「ラクラグ」、研究開発向け AI エージェント「リアラボ AI」、受託 AI 開発「カスタム Hutzper AI」、現場向け安全管理 AI「OwloX」を提供しており、製造業出身者を中心とした現場主義の開発・伴走支援を強みとしています。2025 年に東証グロース市場へ上場（証券コード：478A）。

会社名	株式会社フツパー（Hutzper Inc.）
代表者	代表取締役社長 CEO 大西 洋
所在地	大阪府大阪市淀川区西中島 1 丁目 11 番 16 号 新大阪 CSP ビル北館 4 階

設立	2020 年 4 月 1 日
証券コード	東京証券取引所 グロース市場（証券コード：478A）
事業内容	製造業を中心とした現場向け AI ソリューションの開発・提供
URL	https://hutzper.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社フツパー　IR 担当：岩岡・久保

E-mail：ir@hutzper.com